

令和 8 年度文化芸術創造拠点形成事業

| | 質問概要 | 回答案 | 募集枠 |
|---|---|--|-----|
| 1 | 「一般枠」「小規模・スタートアップ枠」において、事業規模の最低ラインは存在するか。 | 「一般枠」「小規模・スタートアップ枠」とも、事業規模における最低ライン及び上限等は明確に定義はしていません。事業に対し適切な枠を選択し、応募してください。 | 共通 |
| 2 | 「小規模・スタートアップ枠」において、「既存事業の再構築を図る場合は既存事業も対象」だが、その内容を示すことができれば、事業名は既存の名称での申請でもよいか。 またその再構築を図った内容については、どのようなかたちで示すことが求められているか。具体的な例があれば、お示しいただきたい。 | 既存事業の再構築である場合、事業名（取組名）は既存の名称を用いても問題ありません。 再構築を図った内容については、必ず既存の事業にあわせて令和 6 年 4 月 1 日以降に開始した新たな取組を事業に含む必要があります。こういった新たな取組との連携で既存事業にどのような影響を促すか、既存事業において課題であった点をどのように改善するか、といった点を示していただくことが重要です。 | 小規模 |
| 3 | 「5_前年度以前の取組概要」について、前年度の取組が現在実施途中の場合はどう記載すればよいか。 | 前年度の取組が実施途中の場合は、現在の状況をもとに記載してください。 | 共通 |
| 4 | 効果測定にあたり定性的なアウトプットについて記載したいときは、ロジックモデルのアウトプットの項目に記載してもよいか。 | ロジックモデルには定性的な効果についても記載いただいて構いません。できるだけ簡潔かつ具体的な記載となるようご注意ください。 | 一般 |
| 5 | 専門人材とは、イベント実施における組織内部の人間、地域住民や任意団体に所属する人材、もしくは専門的知識を有する大学等の講師等のうち、どのような人材を称するべきなのか。 | 募集案内p.4に記載されている専門人材に求められる役割（コーディネート機能、中間支援機能、普及啓発機能）や期待される活動を担うことができる、文化芸術に造詣が深い人材あるいは団体であれば、誰でも専門人材として扱うことが可能です。専門人材は複数指定することもできますので、地域における課題解決のために適した起用となるよう心がけてください。 | 共通 |
| 6 | 「6_効果測定」シートや「8_専門人材」シートについて、現在表示されている項目数では足りない。追加をしたい場合、どうすればよいか。 | 項目を増やしたい場合のために欄を用意していますので「再表示」してください。 再表示を行ったうえで不足するようであれば、募集案内 p.12 に記載している事務局に御相談ください。必要分の行の追加についてご対応いたします。 | 共通 |